一般社団法人

教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

ニューズ・レター No.229



発行日 2020年12月3日 発行所

一般社団法人 教育システム情報学会 発行者 柏原 昭博

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358 番地 5 アカデミーセンター

URL https://www.jsise.org E-MAIL secretariat@jsise.org

第 46 回全国大会案内・・・・・・・・1	支部活動報告・・・・・・・・・・15	
第5回研究会開催案内・・・・・・・2-3	学会 Twitter,Facebook のご案内・・・16	
第6回研究会講演募集・・・・・・・4-5	協賛・後援イベントのお知らせ・・・・17	
特集論文研究会講演募集・・・・・・・・6	国際会議のご案内・・・・・・・・17	
第 3 回研究会開催報告・・・・・・・・7	会費納入のお願い・・・・・・18-19	
第 4 回研究会開催報告・・・・・・・8	事務局より・・・・・・・・・20-22	
学生研究発表会募集・・・・・・・・9	会員専用ページのご案内,	
2020 年度研究会年間スケジュール・・・10	入会のご案内,	
特集号募集・・・・・・・・・11-12	新入会員のご紹介,	
合同英文誌 ITEL 論文募集・・・・・・13	学生会員特例新設のご案内	
研究会報告年間購読の申し込み・・・・14		

●○●○●○●○●○●○●≪ も く じ ≫●○●○●○●○●○●



第46回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者: 全国大会委員会

2021年度全国大会の開催日と開催場所の予定が決まりました。

開催日: 2021年9月1日(水)~9月3日(金)

開催場所 広島工業大学 五日市キャンパス

(予定): http://www.it-hiroshima.ac.jp/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観





■ アクセス

http://www.it-hiroshima.ac.jp/about/access/itsukaichi/

< JR · 私鉄>

- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ 広電 (広島電鉄) 宮島線に乗り換えて「楽々園」下車 ⇒ 徒歩 15 分
- JR 山陽本線「五日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車(約12分、約900円)
- JR 山陽本線「廿日市」駅下車 ⇒ タクシー乗車(約 10 分、約 800 円) <バス(広電バス)>
- 1. 五日市駅南口発「楽々園」経由「東観音台団地」「湯来温泉」方面行きに乗車
- 2. 「広島工大入口」下車
- 3. 徒歩3分



2020 年度 第 5 回研究会 開催案内

担当者: 光原 弘幸(徳島大学)、佐々木 整(拓殖大学)、三石 大(東北大学)、 高木 正則(岩手県立大学)、鷹野 孝典(研神奈川工科大学)

下記の通り、教育システム情報学会(JSiSE) 2020年度第 5 回研究会を開催いたします。是非、みなさま奮ってご参加ください。

■ テーマ: 実世界指向の教育学習環境/一般

■ 開催日: 2021年1月9日(土)■ 会場: オンライン開催(Zoom)

■趣旨:

本年度第5回研究会は、「実世界指向の教育学習環境/一般」のテーマで発表を募集いたします。

現代の様々な新技術は教育学習環境を大きく変えています。例えば、携帯情報端末や高速無線通信の技術により、世界中のさまざまな情報・教育コンテンツでいつでもどこでも学べるようになり、国や地域を越えた協調学習も可能になりました。さらに、存在感を有して知的に振る舞うロボット、身の回りのさまざまなモノをコンピューティングの対象とする IoT、実世界と見まがう疑似体験を提供する VR/AR など、新しい教育学習環境を切り拓く技術が次々と社会に浸透しています。

また本年度は、世界的なコロナ禍によって、教育学習環境のオンライン化が一気に加速し、学び方や教え方のパラダイムシフトの必要性や可能性を実感する一方で、実際にその場に訪れ、人やモノと接することで得られる実世界指向の教育学習環境の重要性にあらためて気づかされるきっかけともなっています。すなわち、今後のニューノーマル時代を見据え、オンライン環境を活用しつつ、学習体験を最大化するための実世界指向の教育学習環境をどのようにデザインし、これを実現していくかは、教育システム情報学の分野において活発に議論されるべきアジェンダの一つと言えるでしょう。

こうした教育学習環境の急速な変化を踏まえ、第 5 回研究会では、新技術を活用した「実世界指向の教育学習環境」について、そのための教授設計も含め、システム・基礎技術の開発、実践、ならびに、新しい教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集し、共に考える議論の場としたいと考えています。なお、一般発表につきましても併せて募集しますので、ぜひ、ふるってお申し込みください。

■参加申込および参加費等:

オンライン開催の関係で、事前の参加登録が必要となります。

当研究会へ参加をご予定の方は、発表者、共著者、参加のみの方を問わず、事前に以下の URL より参加登録を行ってください。

https://bit.ly/3jaKn5g

ご登録いただきました方には、第 5 回研究会へのアクセス方法(Zoom)とパスコードをお送りいたします。

研究会への参加は無料ですが、発表者の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン研究報告集の購入(1,000円)をお願いしております。詳しくは以下のQ&Aを御覧ください。

https://www.jsise.org/society/faq.html

上記に該当する方および研究報告の購入を希望される方は、上記事前参加申込 URL より購入希望の旨を入力し、記載されている振込先口座情報に従って振込を行ってください。

アクセス方法については、研究報告の公知日以後にご登録いただいたメールアドレスにお知らせいた します。

■研究報告について:

研究報告は電子化されています。年間購読をお申し込みの会員の方は、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで閲覧できます。非会員の方や、年間購読を申し込まれていない方で購入を希望される方は、上記の説明をご覧ください。

なお、年間購読(4,000円)をお申し込みいただくと、年6回の定例研究会と1回の特集研究会の計7回分の研究報告を読むことができます。申込方法等については、以下のページをご覧ください。

https://www.jsise.org/utility/information/20160222.html

■オンライン懇親会について:

第 5 回研究会では、オンラインでの懇親会の開催を計画しております。開催方法については現在検討中のため、開催方法が決まり次第、あらためてご案内いたします。

■お問い合わせ先:

光原 弘幸(徳島大学、第5回研究会担当委員)

E-mail: jsise-sig-5th[at]googlegroups.com ([at]の部分は、半角の@に変えて下さい)



2020 年度 第6回研究会 開催案内

担当者: 西野和典(太成学院大学),西端律子(畿央大学),鷹岡亮(山口大学), 浅羽修丈(北九州市立大学),長谷川理(武蔵野大学),尾崎拓郎(大阪教育大学), 永田奈央美(静岡産業大学),山本樹(明海大学)

■ テーマ:一人1台時代の情報活用能力の育成

■ 開催日時:2021年3月21日(日)

■ 会場:オンライン開催

■ 趣旨:

2019 年末,子どもたち一人ひとりに個別最適化され,創造性を育む教育 ICT 環境の実現に向けて,GIGA スクール構想が示されました.これから確実にやってくる超高速ネットワーク,クラウド,一人1台から一人1アカウント時代において,プログラミング教育,探究的・プロジェクト的な学びにおけるICT活用など情報活用能力,さらに情報統合能力の育成はより重要になってくると考えられます.

また、COVID-19 の拡大の影響により、休業が長期化し教育課程の実施に支障が生じる事態に備えて、一人 1 台端末の早期実現、家庭でもつながる通信環境の整備を加速させることで、ICT の活用により全ての子供たちの学びを保証できる環境を早期に実現するために、文部科学省が 2020 年度の補正予算を計上しました。このことにより、教育現場での ICT 環境の整備や ICT 機器を用いた教育方法を検討することは急務となっています。これらのことから、初等・中等・高等教育、あるいは接続性を踏まえた情報活用能力の育成について参加者の皆さんと考えていきたいと思います。

そこで第6回研究会では、上記についての研究や議論を深めるため、「一人1台時代の情報活用能力の育成」に関連する研究発表を募集します。対象は、小中高に限らず、大学等で持続可能な教育実践研究や、それらを支援するシステムなどを開発・研究されている研究発表もぜひご応募ください。また、教育の情報化に関連した研究発表や本学会の取り扱う領域における一般研究発表も幅広く募りますので、奮ってご投稿ください。

■ 原稿提出締切:2021年2月17日(水)

■原稿提出は、下記、「申込者ログイン」よりお願いします. 申込者ログイン https://iap-jp.org/jsise/course1/login.php

研究報告執筆要領: https://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf
研究報告見本: https://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf

研究報告ひな形: https://www.jsise.org/society/doc/sample.docx

オンライン講演申込・原稿投稿方法: https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf

■参加申込および参加費等:

研究会の発表者,共著者,参加のみの方を問わず,全員の方に事前に参加申込の登録をお願いいたします.

登録していただいた方へは、第6回研究会の開催用URL(Z00M)をお送りいたします.

事前参加申込の登録を行う方は、以下の URL より行ってください.

https://bit.ly/3bwdBcV

なお、研究会への参加は無料ですが、発表者の方で研究報告の年間購読をされていない方には、当日分のオンライン研究報告集の購入(1,000 円)をお願いしております。詳しくは以下の Q&A を御覧ください。

https://www.jsise.org/society/faq.html

上記に該当する方および研究報告の購入を希望される方は、上記事前参加申込 URL より購入希望の旨を 入力し、記載されている振込先口座情報に従って振込を行ってください。

アクセス方法については、研究報告の公知日以後にご登録いただいたメールアドレスにお知らせいたします.

なお,年間購読を希望される方は,次項「研究報告について」を参照してください.

■研究報告について:

研究報告は電子化されています。年間購読をお申し込みの会員の方は、研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで閲覧できます。非会員の方や、年間購読を申し込まれていない方で購入を希望される方は、上記事前参加申込を通じてご連絡ください。

なお、年間購読(4,000円)をお申し込みいただくと、年6回の定例研究会と1回の特集研究会の計7回分の研究報告を読むことができます。申込方法等については、以下のページをご覧ください。https://www.jsise.org/utility/information/20160222.html

■ お問い合わせ先:静岡産業大学 永田奈央美, 明海大学 山本樹 (第6回研究会担当委員) E-mail: tatsuki at meikai.ac.jp (「at | は、半角の「@」に変更してください)



2020 年度 特集論文研究会 講演募集

担当者: 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久(大阪府立大学)

■ テーマ: Society 5.0 に向けたオンライン学習および AI・数理・データサイエンスと

人材育成支援に関わる教育システム

■ 開催日時: 2021年3月20日(土)

■ 会場: オンライン開催

■ 趣旨:

※本研究会は、特集号論文並びに 2020 年度第3回研究会(※9月27日(日)開催済)との連動企画です

新型コロナ感染症への社会的対処として、サイバー空間の積極的な活用がなされています。本特集号では、転換が加速する「Society 5.0時代に向けた教育システム」に関する論文を募集いたします。「Society 5.0」では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させるシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会が提唱されています。新型コロナ感染症の影響下でのオンライン学習の実践は、まさに Society 5.0 社会に向けた経験知を醸成しています。フィジカル空間に主軸があった学習活動がサイバー空間にも広く展開され、学習履歴のビッグデータ収集・蓄積・分析が加速することで、フィジカル空間での学びに対しても新しい価値創造の機運が高まっています。そのような分析に携わる AI・数理・データサイエンスに関わる知識とスキルを身に付けた人材育成も急務であり、それに関わる教育システムも、新しい社会への転換に強く寄与するものです。

発表申込締切:2021年1月28日(木)原稿提出締切:2021年2月17日(水)



2020年度 第3回研究会 開催報告

■テーマ:遠隔教育/数理・データサイエンス教育と学習支援システム/一般

■開催日時:2020 年 9 月 27 日(日) 10:00~17:20

■開催方法:Zoom, Slido を用いたオンライン

■担当:安間 文彦, 三好 康夫, 小西 達裕(研究会委員会)

■発表件数:14 件■参加者数:57 名

本年度第 3 回研究会は「遠隔教育/数理・データサイエンス教育と学習支援システム/一般」をテーマに開催致しました。特に「遠隔教育」のテーマは当初の開催計画にはなかったものですが、新型コロナウィルスの感染予防の観点から特に重要性が増しているということから急遽加えさせていただいたものです。14 件の発表のうち半数以上の8件がこのテーマに関係するものであり、皆様の関心の高さをうかがわせる発表状況になりました。

本研究会は新型コロナウィルス感染症予防に配慮して zoom を利用したオンライン開催としました.今回は試行として発表への質問を slido (https://www.sli.do/) により受け付け、座長が読み上げる形で質疑応答を進めました. オンライン学会では質疑応答が活発になりにくいのではという懸念もありましたが、発表中から質問を slido に入力された方も多く、すべての質疑時間を有効に使うことができました.

また参加受付を自動化し、当日参加でも参加用 URL を受け取れるようにしました。幸い不適切な参加者による混乱もなく円滑に受付できました。例年この時期の研究会は、大会直後ということもありあまり多くの方にご参加いただけなかったのですが、オンライン開催の効果か本年度は盛況でした。ご参加いただいた皆様有難うございました。

なお研究発表のタイトルは以下の通りです.

- ・AI人材を指向した人工知能カリキュラムの試案
- ・高知大学におけるリテラシーレベルの数理・データサイエンス教育導入の取り組み
- ・自由度2のx2乗分布に関する新しい教材の作成について
- ・初級統計学演習における誘導機能と助言機能をもつ学習支援システムの構築
- ・PBL型学習へスキルマップ導入による学習する組織の構築
- ・ビデオとオンラインレポートを活用した授業のオンデマンド化の評価
- ・ロボット介入によるオンライン栄養指導方法の提案
- ・ウイズコロナ環境で大学生はどのように学んでいるか -学習支援システム開発へのヒントー
- ・SNS を活用した遠隔授業 -異文化理解授業を例として-
- ・zoom のブレイクアウトセッション機能を利用した Unity のプログラミング演習の実践
- ・ジョブ型雇用における学習履歴のオープンデータ連携に関する米国の動向
- ・相互評価中の特徴的な評価行動の指標に対する連続評価の影響分析
- ・MIF 誤概念に対する Error-Based Simulation の修正効果の概念マップを用いた観測
- ・書字に関する熟達者の思考過程・技能の分析



2020 年度 第 4 回研究会 開催報告

■テーマ:スキルや経験に関わる学習支援法や支援環境/一般

■開催日時:2020年11月14日(土)10:00~15:25

■開催方法:Zoom を用いたオンライン

■担当: 曽我 真人, 長谷川 忍, 松浦 健二, 柏原 昭博, 小尻 智子(研究会委員会)

■発表件数:10件 ■参加者数:35 名

今年度の第4回研究会は、「スキルや経験に関わる学習支援法や支援環境」をテーマに開催致しました. なお、今回も新型コロナウィルス感染症予防の観点から Zoom を用いたオンラインで開催致しました. 配食サービス業者向けの支援、映像制作を通じた教育実践、心理的安全性が重要な対面講座と遠隔講座の違い、カメラ画像に対する空書の CNN を用いた自動認識、視線誘導による自動車運転の気づき支援、利き手交換法を用いた運筆動作訓練システム、スキーの回転スキル学習支援、遠隔授業におけるメディア制作実習、プログラミングと認知症を学ぶロボット教材、演劇を取り入れた英会話学習の PBL など、計10件(テーマ発表6件、一般発表4件)の発表がありました. いずれの発表も活発に質疑応答が行われ、大変充実した研究会となりました.

前回、対面での研究会を和歌山大学で開催した 2012 年を思い出しますと、そのときの参加者数はほぼ同じくらいと記憶しておりますが、今回は、遠方(たとえば、沖縄県や熊本県)からのご参加とご発表もあり、これは、オンライン開催ならではだと思います。みなさまのおかげをもちまして、トラブルもなく、充実した研究会になりましたことにつきまして、開催担当者一同、御礼申し上げます。

なお、10件の発表の題目は以下の通りでした.

- ・配食事業者向け配食サービス支援システムの開発と評価
- ・初等・中等教育における映像制作を通じた教育実践の実態に関する調査
- ・心理的安全性が重要な対面講座と遠隔講座の違いに関するインタビュー調査
- ・単眼カメラ画像に対する空書の自動認識
- ・視線誘導を導入した自動車運転時の気づき支援環境
- ・利き手交換リハビリテーション法を用いた運筆動作訓練システムの開発とその評価
- ・シートセンサと VR を利用した体重移動によるスキーの回転スキル学習支援環境
- ・リモート授業における iPad を用いたメディア制作実習の実践
- ・プログラミングと認知症の両者を学ぶロボット教材の実践と評価
- ・演劇を取り入れた英会話学習の PBL の設計と実践



学生研究発表会発表募集(第2報)

人材育成委員会

今年度の学生研究発表会は<u>オンラインでの開催</u>となります。スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。 優秀な発表は学会長名にて表彰します。また、全国大会との連携企画も検討しております(特典内容は未定です)。

主な日程

12 月中旬:開催地区等の情報を学会 HP 上で公開

12 月下旬:開催地区の開催日の公開および発表申込開始 ※学会 IP 上からの申し込み

1月下旬(予定):申し込み締め切り

2月初め(予定):発表原稿の提出締切

2月下旬から3月:学生研究発表会の開催(オンライン)

開催地区: 例年と同様の9地区の予定です。

発表方法:オンラインでの発表,詳細は各地区担当者にご確認ください。

留学生の方の発表(英語・日本語)の発表も歓迎します。

発表資格: 大学院生, 大学生・短大生, 高専生, 専門学校生, 高校生の他, 社会人学生も可能です。

※いずれも JSiSE 正会員である推薦人(指導教員または関係者)の推薦が必要です。

発表地区:自分の所属する大学等の場所と一致していなくても問題ありません。

※最新情報は、学会 HP (下記) をご確認ください。過年度の発表論文も公開されておりますので参考に してください。

https://www.jsise.org/society/presentation/index.html



2020年度研究会開催スケジュール

2020年度の年間スケジュールは下記のとおりです.

詳細は、学会ウェブページ(https://www.jsise.org/society/committee.html)を御覧ください

第5回 2021年1月9日(土) オンライン開催

実世界指向の教育学習環境/一般

申込み締切:締め切りました 原稿締切:12月10日(木)

第6回 2021年3月21日(日) オンライン開催

一人1台時代の情報活用能力の育成/一般

申込み締切: 2021 年 1 月 28 日(木) 原稿締切: 2021 年 2 月 17 日(水)

特集 2021年3月20日(土) オンライン開催

Society5.0 に向けたオンライン学習および AI・数理・データサイエンスと

人材育成支援に関わる教育システム

申込み締切: 2021 年 1 月 28 日(木) 原稿締切: 2021 年 2 月 17 日(水)

研究会全般に関するお問い合わせは、学会事務局までお願い致します.



2022 年度発刊 特集号論文募集

担当者: 学会誌編集委員会委員長 瀬田 和久(大阪府立大学)

「Society 5.0 に向けたオンライン学習および AI・数理・データサイエンスと 人材育成支援に関わる教育システム」 論文投稿締切:2021年6月1日(火)(予定) 2022年4月1日発行(予定)

新型コロナ感染症への社会的対処として、サイバー空間の積極的な活用がなされています。本特集号では、転換が加速する「Society 5.0時代に向けた教育システム」に関する論文を募集いたします。「Society 5.0」では、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させるシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会が提唱されています。新型コロナ感染症の影響下でのオンライン学習の実践は、まさに Society5.0 社会に向けた経験知を醸成しています。フィジカル空間に主軸があった学習活動がサイバー空間にも広く展開され、学習履歴のビッグデータ収集・蓄積・分析が加速することで、フィジカル空間での学びに対しても新しい価値創造の機運が高まっています。そのような分析に携わるAI・数理・データサイエンスに関わる知識とスキルを身に付けた人材育成も急務であり、それに関わる教育システムも、新しい社会への転換に強く寄与するものです。

1. 対象分野

開催延期となった東京五輪に向けたスポーツテック導入に基づく教育(トレーニング),また自治体では、コロナ感染の対処も含めオープンデータを活用した災害・防犯教育のシビックテックも見られ,幅広い分野の教育にレジリエントな社会の実現に向けたデジタルトランスフォーメーション(DX)が期待されます. Society 5.0 時代への転換を見据え,高等教育機関等における AI・数理・データサイエンス教育等に関わる論文に加え,リカレント教育も含めた,今後の「Society 5.0」に向けた教育発展に寄与するオンライン学習の実践の論文を募集します。また,先行的な取り組みとしての情報教育(IoTを含むプログラミング,カリキュラム設計等),さらに,遠隔医療,農業,建設業も含めた幅広い分野の教育において,先端技術(5G・ロボット・ドローン・ブロックチェーン等)の活用を見据えた人材育成の支援の取り組みに関する教育システムの論文も広く募集いたします。

2. 論文種別

すべての種別(一般論文,実践論文,ショートノート,実践速報)の論文を募集いたします.なお,査 読を通して,異なる種別での採録となる場合があります.また,内容により一般号掲載論文へ変更する 場合があります.

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます.詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください. Web 投稿の際には、以下の点にご注意ください.

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください.
- ◆ 特集論文研究会(2021年3月20日(土))で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への 連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

4. スケジュール

論文投稿締切: 2021年6月1日(火)(予定) 採録通知予定: 2021年11月上旬(予定)

学会誌 掲載: 学会誌Vol. 39, No. 2, 2022年4月1日発行(予定)

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します. 是非, ご発表・ご参加ください. 詳細は, 今後の最新の開催案内(https://www.jsise.org/society/committee.html)をご覧ください.

特集論文研究会: 2021年3月20日(土)

会場: オンライン開催

発表申込 締切: 2021年1月28日(木) 原稿提出 締切: 2021年2月17日(木)

5. 特集号編集委員会

委員長: 瀬田和久(大阪府立大学)

副委員長: 村上 正行(大阪大学) 筆頭幹事: 松田 憲幸(和歌山大学)

幹 事: 後藤田 中(香川大学),田中 孝治(金沢工業大学) 幹事補佐: 近藤 伸彦(東京都立大学),山元 翔(近畿大学)

委員: 学会誌編集委員,特集号編集委員

6. 問い合わせ

全 般: 後藤田 中(香川大学) E-mail: gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp

Web投稿: 編集事務局

電話: 03-5389-6492

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤氏



Information and Technology in Education and Learning (ITEL) 論文募集 [https://www.j-itel.org]

2002 年から英文誌(The Journal of Information and Systems in Education)を発行してまいりましたが、2020 年 4 月 1 日より、日本教育工学会(JSET)との合同英文誌 ITEL(Information and Technology in Education and Learning、https://www.j-itel.org)を立ち上げ、ITEL Vol.1 を 2021 年 3 月より公開予定です。現在は、ITEL Vol.2 の掲載論文を募集しています。

この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。ITEL は、JSiSE 英文誌と同様、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。

革新的な研究成果, ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただければ幸いです.

○ 論文種別: 一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ), 実践論文(Practice Paper, 基本 8 ページ)
 システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ)
 ショート論文(Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)

<これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report on Practice) を含みます>

- 投稿締切:1年中投稿を受け付けています.
 - <JSiSE 英文誌と同様、投稿後、7か月までには、採録の可否を決定・通知する予定です>
- 投稿要件:
 - •論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます. 投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます.
- 原稿執筆要領: ITEL Web サイトに、執筆要領(Author Guidelines)等がアップされています.
- 投稿方法:< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい.
 - ●初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - •投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け、証明書提出を推奨しています.
- 査読方法:
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は2名(Short Paper は1名)で、査読回数は2回となります(著者照会は1回のみ).
 - •評価項目は、Originality (新規性)、Usefulness (有用性)、Reliability (信頼性)、Presentation (明瞭性)の4項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - ◆投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます.



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究報告は、2016年度からは印刷媒体での研究報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非,研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです.研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております.

- ・年間購読:4,000円(定例研究会年6回,特集研究会1回,計7回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。<u>すでに年間購読をしていただいている方は手続き不要です</u>。

1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局(secretariat@jsise.org)まで年間購読申込をしてください.

※研究報告年間購読希望

会員番号(お分かりであれば):

お名前:

所属:

連絡先 e メールアドレス:

- 2) 手続き終了後,事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます.
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください.

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局(secretariat@jsise.org)までご連絡ください、年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

北信越支部より活動報告

北信越支部主催ワークショップ 「成果発表を磨く」開催・募集のお知らせ

北信越支部では、広く教育工学、教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため、【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は、論文執筆を目標とした研究のまとめかたに関する講演とともに、学位取得を目指す博士生や 論文投稿を目指している修士生による研究発表と、論文執筆と目標とした議論です。過去のワークショ ップでは参加者より、多くのコメントもいただきました。これらの様子は、北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます。また、数多くのコメントをいただいた博士課程学生の皆さんは論文採 録2本、国際コンペ表彰1名、学位取得4名など、それぞれに成果をあげています。

本年度は以下の内容にて開催を計画しています。なお、本ワークショップは、全国の学生会員もしく は会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっております。

「成果発表を磨く」実践的な機会であり、研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。 併せて、学生研究発表会もありますので、学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

O北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時:2021年3月上旬(予定)

開催場所: ※ オンライン開催の可能性を含めて検討中。決まり次第 Facebook でご案内します。

話題提供・討論概要:

申込者には、1件あたり50分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対象: 博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE 学生会員または JSiSE 会員に指導を受ける者

申込方法・〆切:※ 現在、開催日時を調整中です。決まり次第 Facebook でご案内します。

申込み、お問い合わせ先:北信越支部研究会担当 hse-submit@jsise.org

※ 話題提供のタイトル、氏名、連絡先、指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト: http://www.jsise.org/~hse/

北信越支部 Facebook : https://www.facebook.com/jsisehse



Twitter アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局(secretariat@jsise.org)へお願いします。また、Facebook アカウントとの連携も行っ

ており、Facebookページの投稿がTwitter にも流れますので、 ぜひご活用(フォロー)ください.

https://twitter.com/JsisePr

2020年11月26日現在, フォロワー数 255アカウント





Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています. 本ページでは,

- 論文·発表募集
- ・本学会に関連するイベントの情報

などを、いち早くお届けします。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします.

https://www.facebook.com/jsise.org/

2020年11月26日現在,いいね422件,461人フォロー





他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

共催「第 15 回医療系 e ラーニング全国交流会」

日時: 2020年12月19日(土)~12月20日(日)

会場:オンライン開催



国際会議のご案内

● 2020年12月開催

IEEE TALE2020: IEEE International Conference on Teaching, Assessment,

and Learning for Engineering 2020

開催期間: December 8 - December 11, 2020

開催地:オンライン

URL: http://tale2020.org/

Conference Theme: Embarking On A New Era Of Learning With Transformative

Technologies

※JSiSE 会員には会議参加費の割引があります.



会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです. 学会の活動は皆様の会費で支えられていますので, 2019 年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願いします. なお, 2020 年度会費納入のお願いをメールでお送りしましたので, 併せてお願いします.

「クレジット決済」,「コンビニ決済」をご希望の方は,下記のマイページよりお手続をお願いいたします.

URL https://bunken.org/jsise/mypage/Login ※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです.

● 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします.

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号: 00180-6-709632

加入者名: 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ: シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合 銀行名:ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)

店名:〇一九 店(ゼロイチキュウ店) 預金種別:当座 口座番号:0709632

名義:一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ: シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行(金融機関コード:0005)

店名: 上新庄支店(カミシンジョウ支店) 預金種別:普通 口座番号:0142708 名義:一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ: シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行(金融機関コード:0001)

店名: 茨木 支店 (イバラキ支店) 預金種別: 普通 口座番号: 1399483 名義: 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ: シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書(支払い後)は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局(secretariat@jsise.org)までご連絡ください.

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。 ※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡下さい.

※会費のお支払いが確認できない場合,学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また, 会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局(secretariat@jsise.org)までお問合せ下さい.

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email: secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL: https://bunken.org/jsise/mypage/Login

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

- ■会員専用ページでは、以下のことができます.
 - 1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
 - 2. 年会費納入状況の確認
 - 3. 会費の納入, クレジット/コンビニ決済
 - 4. パスワードの変更

会員種別,フリガナ,研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します.

ログインには、 ID とパスワードが必要です.

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます. 何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください.

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど,何卒よろしくお願い申し上げます.

直入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申 し込みをお願いいたします.

URL: http://www.jsise.org/admission/index.html

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、 入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。 そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました. (2020年9月19日~2020年11月20日)

会員名	会員種別	会員名	会員種別
吉田 敏明	正会員	武田 将季	正会員
清原 文代	正会員	内山 慎太郎	学生会員
西岡 克記	正会員	正門 和己	学生会員
糸井 麻希子	正会員	藤本 彩華	学生会員
馬場 友子	正会員		

(計9名)

「学生会員特例」新設のご案内

2020年度より「学生会員特例」を新設することとなりました. これは、研究生や博士後期課程単位取得退学者など、常勤の職がなく、 指導教員より継続的に指導を受けている会員を対象に、 通算3年を限度として会員種別を「学生会員」とする特例です.

(*)学生会員:大学院,大学,短期大学,高等専門学校, およびこれらに準ずる学校に在学中の方. 会費は年額 4000 円/研究報告年間購読付きで 8000 円.

本特例が適用されるのは申請した年度のみです.

そのため、年度ごとに申請書を提出し理事会の承認を得る必要があります. 申請に際しては、指導教員の氏名、所属および連絡先を記入していただきます. ただし指導教員に関しましては、本学会の会員・非会員を問いません.

本特例の適用を希望する会員の方は、学会 Web サイト「入会のご案内」ページにある「関連書類」から「学生会員特例の申請書」をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、事務局 (secretariat@jsise.org) までお送りください.

「学生会員特例の申請書」のリンク

https://www.jsise.org/admission/index.html

なお、非会員の方でも、上記の条件に合致する方は、本特例を適用し新規の学生会員として入会することができます。 その場合は、「オンライン入会フォーム(正会員・学生会員用)」の通信欄に必要事項を記入することで、本特例の申請を行えます。

ご指導されている方などで対象者がおられましたら, 本特例の件をお伝えの上, ぜひ本学会への入会を ご推薦くださいますよう, お願いいたします.

上記「学生会員特例」に関しまして、ご不明な点等ございましたら、事務局までご連絡ください。